

令和5年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立 梅島第一 小学校 校長 落合 秀章

1 学校教育目標

- 思いやりのある子 よりよい生活を目指して相手を尊重し、助け合う子
- 考える子 様々な問題を解決するために多様な考えをもてる子
- たくましい子 困難に直面してもあきらめず、より高い目標に向かって努力し続ける心と体をもつ子

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ①児童の読書に対する意欲を盛んにし、豊かな心情と幅広い知識を身に付けさせる。
- ②多様な資料から目的に応じた情報を選んで課題解決する能力を伸ばす。
- ③様々な取り組みを通して本の楽しさに触れ、日常的に本に親しむ態度を養う。
- ④学校図書館及び校内の図書にかかわる環境を整え、児童の読書に対する意欲を高める。

3 学校図書館の現状（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 8,582 冊（蔵書基準冊数 74,80 冊）／ 蔵書率 114.7 %									
	② 新規購入図書 370 冊 ／ 廃棄図書 0 冊 ／ 増減冊数 370 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1.9%	0.8%	7.5%	6.3%	14.6%	5.6%	2.9%	7.1%	2.0%	51.2%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間： 8:45～15:30 (前年度からの変更 なし)									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 30 冊 (前々年度末： 26.2 冊)									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 53.4% (前々年度末： 63.5%)									

(令和5年度末)

蔵書状況	① 蔵書数 冊（蔵書基準冊数 冊）／ 蔵書率 %									
	② 新規購入図書 冊 ／ 廃棄図書 冊 ／ 増減冊数 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合										
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間： (前年度からの変更 あり・なし)									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 冊 (前年度末： 冊)									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 % (前年度末： %)									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① 読みやすい読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。	
	② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。	
今年度の成果目標	達成基準	
① 学校図書館を使う授業により、本を手取る機会が増える。	① 各クラス月3回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。	
② 学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ねる。	② 読書旬間を利用して、年間一人あたり100冊以上の本を読む。	
③ 学校図書館の利用の仕方について知る。	③ 学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%	
目標達成状況		
①校内で割り当てを作成し、各クラス月3回以上、読書等の授業を学校図書館で行うことが全クラススムーズにできた。		
②読書旬間を利用して、約80%の児童が、年間100冊以上の本を読む目標を達成できた。		
③学校図書館オリエンテーションを全学級、実施できた。100%		

第2学年	① いろいろな読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする態度を育てる。 ② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
① 自分の興味のある本を探して、読書することができる。 ② 図鑑や科学的な読み物について読書し、その内容を友達に伝えることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	① 各クラス月3回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり100冊以上の本を読む。 ③ 学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%
目標達成状況	
①校内で割り当てを作成し、各クラス月3回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行うことができた。 ②読書旬間を利用して、約80%の児童が、年間100冊以上の本を読む目標を達成できた。 ③学校図書館おりを全学級、実施できた。100%	
第3学年	① いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、進んで学校図書館を利用する態度を養い、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
① 自分の興味のある本だけでなく、それに関連する本についても読書する意欲を育てる。 ② 辞典や図鑑等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり3000ページ以上の本を読む。 ③ 学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%
目標達成状況	
①校内で割り当てを作成し、各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行うことができた。 ②読書旬間を利用して、約85%の児童が、年間3000ページ以上の本読む目標を達成できた。 ③学校図書館オリエンテーションを全学級実施した。100%	
第4学年	① いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする態度を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用することができる力を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
① 自分の興味のある本だけでなく、今まで興味なかった本についても読書することができる。 ② 辞典や図鑑等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり3000ページ以上の本を読む。 ③ 学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%
目標達成状況	
①校内で割り当てを作成し、各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行うことが概ねできた。 ②読書旬間を利用して、約60%の児童が、3000ページ以上の本を読む目標を達成できた。 ③学校図書館オリエンテーションを全学級実施した。100%	
第5学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができる力を育てる。
今年度の成果目標	達成基準

① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。	① 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。
② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめることができる。	② 年間一人あたり4000ページ以上の本を読む。
③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。	③ 学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%

目標達成状況	
①校内で割り当てを作成し、各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行うことが概ねできた。	
②約30%の児童が、年間4000ページ以上の本を読む目標を達成できた。	
③学校図書館オリエンテーションを全学級実施した。100%	

第6学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
-------------	---

今年度の成果目標	達成基準
① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。	① 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。
② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめ、説明することができる。	② 年間一人あたり4000ページ以上の本を読む。
③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考え、友達に伝えることができる。	③ 学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%

目標達成状況	
①校内で割り当てを作成し、各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行うことが概ねできた。	
②約20%の児童が、年間4000ページ以上の本を読む目標を達成できた。	
③学校図書館オリエンテーションを全学級実施した。100%	

5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ① 課題図書を購入・登録作業を6月中に完了させる。 ② 廃棄図書を早期に確定させ、蔵書構成を念頭においた新規図書購入計画を作成する。	①課題図書の購入・登録作業を6月に完了させることができた。 ②廃棄図書を早期に確定させ、新規図書購入計画を作成することができた。
【学校図書館支援員との連携・協働】 ① どの学級もブックトークや読み聞かせを通して、自分の興味関心がある分野だけでなく、多方面へ関心が広がるよう学校図書館支援員と連携を図る。 ② 学級も学校図書館オリエンテーションの実施やブックトーク等、支援員の積極的な連携・協働に取り組む。 ③ 調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行う。 ④ 学校図書館支援員の勤務日は、中休み・昼休み・放課後の開放をできる限り可能にする。	①低学年を中心にブックトークや読み聞かせを通して、多方面へ関心が広がるように学校図書館支援員と連携を積極的に図ることができた。 ②低学年・中学年に学校図書館オリエンテーションの実施を行い、高学年には分類について知らせ、分類意識ができるように協働して取り組めた。 ③授業で必要な資料について積極的に情報交換を行うことができた。 ④学校図書館支援員の勤務日は、できる限り開放した。
【その他】 ① 図書館前の掲示物を工夫する。(季節や年中行儀に合ったもの、新規購入図書・推薦図書・課題図書の紹介等) ② 貸し出し冊数は一人4冊までとし、要望に応じて学級文庫としての貸し出しも可とする。	①校長先生のおすすめの本をあらすじと共に学校図書館前に掲示したり、季節や年中行事に合った本の紹介・掲示物を工夫したりすることができた。 ②貸し出し冊数を4冊にしたことで、学校図書館を利用する児童が増えた。

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

4月に図書館支援員によるオリエンテーションを行い、図書館利用のルールや本の分類について学んだことで児童は分類を意識して本を選ぶようになった。また、各先生のお薦め本の掲示・展示、あらすじを図書館前に掲示したことで、児童の興味を引き、様々な学年の貸し出しが増える契機になった。高学年になるにつれて貸し出し率が減少する傾向にあるので、蔵書の除籍や整理を行いながら、各学級にお薦め本を届けるなどの工夫が必要である。

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

読書旬間の取り組みをはじめとする学校での働きかけが、読書好きの児童の育成につながると思う。読書離れは懸念されるが、今までの取り組みを継続するとともに、世の中の流れにあった本を学校図書館にも置き、児童の読書意欲を喚起して欲しい。